

APEA

冷媒用被覆アルミニウム合金管

APEA1001:2021

2018年9月1日制定

2021年12月21日改正

一般社団法人アルミ配管設備工業会



APEA 1001:2021

制定者：一般社団法人 アルミ配管設備工業会

委員会：冷媒用被覆アルミニウム合金管規格制定委員会

制定：2018年9月1日

改正：2021年12月21日

冷媒用被覆アルミニウム合金管規格制定委員会の委員名簿を、次に示す。

APEA1001:2021 冷媒用被覆アルミニウム合金管規格制定委員会：委員名簿

	氏名	所属
(委員長)	三宅 孝治	星朋商工株式会社
(委員)	植村 聡	三機工業株式会社
	込山 治良	高砂熱学工業株式会社
	福山 潤	東尾メック株式会社

APEA1001:2018 冷媒用被覆アルミニウム合金管規格制定委員会：委員名簿

	氏名	所属
(委員長)	三宅 孝治	星朋商工株式会社
(委員)	植村 聡	三機工業株式会社
	込山 治良	高砂熱学工業株式会社
	福山 潤	東尾メック株式会社
	入江 孝弘	株式会社ベンカン

一般社団法人 アルミ配管設備工業会規格

APEA

1001:2021

冷媒用被覆アルミニウム合金管

Insulating covered aluminium pipes for refrigerants

序文 この規格は、長年冷媒用の接続管には被覆銅管が使用されてきたが、世界の銅素材の需要増からの供給体制の不安や、CO₂排出量の削減の為に、アルミニウム合金を素材とした被覆アルミニウム合金管を新たに接続管として、普及促進を図るためのものである。

1. 適用範囲 この規格は、最高使用圧力（設計圧力）**4.3 MPa**以下の冷媒配管で、空気調和機の屋内ユニットと屋外ユニット間の冷媒を通す配管に用いる、外面に断熱材を被覆した冷媒用被覆アルミニウム合金管（以下、被覆アルミ管という。）について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この一部を構成する。これらの引用規格及び関連法規は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 4080 アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管

JIS A 9511 発泡プラスチック保温材

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則

JIS H 0502 銅及び銅合金の渦流探傷試験方法

高圧ガス保安法冷凍保安規則関係例示基準

3. 定義 この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1 原管 外面に断熱材を被覆する以前の均一な断面かつ均一な肉厚をもち、直線又はコイルの形で供給されるアルミニウム合金継目無管。

3.2 断熱材 断熱を目的とした発泡ポリエチレンフォーム。

3.3 外皮材 発泡ポリエチレンフォームの断熱材の表面に一体化されたシート材又はフィルム状の材料。
いお

3.4 被覆アルミ管 原管の外面に断熱材を被覆した冷媒用被覆アルミニウム合金管。

4. 被覆アルミ管の種類 被覆アルミ管の断熱材の厚さを、**表 1** に示す。また、被覆アルミ管の断面例を、**表 2-1** 及び**表 2-2** に示す。

表 1 被覆アルミ管の断熱材の材料と厚さ

断熱材料	断熱材厚さ
難燃ポリエチレンフォーム	8 mm以上
	10 mm以上
	20 mm以上